

3500 電気代					
品目	銘柄	詳細	単位		
電気代	従量電灯, アンペア制又は最低料金制, 基本料金又は最低料金・電力量料金・燃料費調整単価・太陽光発電促進付加金単価・再生可能エネルギー発電促進賦課金単価	使用電力量パターン別	1か月		
	企業別				
価格選定（銘柄） (1) 上記銘柄の価格を選定する。 (2) 調査市町村別に該当する電力会社を1社選定する。 (3) 電気代は、選定した電力会社（全部で10社）が採用している料金体系を用いて算定する。 北海道, 東北, 東京, 北陸, 中部, 九州電力の6社…………… アンペア制 関西, 中国, 四国, 沖縄電力の4社…………… 最低料金制					
価格選定（詳細） (4) 1か月当たりの使用電力量について5パターン設定する（カッコ内は、アンペア制における契約アンペア数を表す。） 使用電力量パターン：180 kWh（20A）, 270 kWh（30A）, 350 kWh（40A）, 450 kWh（50A）, 700 kWh（60A）					
指数算出方法 調査市町村別平均価格の算出 使用電力量パターン(i)別の価格を算出する。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>t : 比較時, 0 : 基準時</td> </tr> <tr> <td>i : 使用電力量パターン</td> </tr> </table> <p>ア アンペア制の場合</p> $P_{t,i} = \text{基本料金} + (1\text{kWh 当りの料金} + \text{燃料費調整単価}) \times 1\text{か月の使用量}$ $+ \text{太陽光発電促進付加金単価} \times 1\text{か月の使用量}$ $+ \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times 1\text{か月の使用量}$ <p>イ 最低料金制の場合</p> $P_{t,i} = \text{最低料金} + (1\text{kWh 当りの超過料金単価} \times (1\text{か月の使用量} - \text{最低料金量}))$ $+ \text{燃料費調整最低料金} + (\text{燃料費調整単価} \times (1\text{か月の使用量} - \text{最低料金量}))$ $+ \text{太陽光発電促進付加金最低料金}$ $+ (\text{太陽光発電促進付加金単価} \times (1\text{か月の使用量} - \text{最低料金量}))$ $+ \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金最低料金}$ $+ (\text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times (1\text{か月の使用量} - \text{最低料金量}))$ <p>使用電力量パターン別の世帯割合(q)を用いて加重平均し、調査市町村別の平均価格を算出する。</p> $P_t = \frac{\sum_i P_{t,i} q_{0,i}}{\sum_i q_{0,i}}$ <p>基準時価格で除して、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。</p> $I_t = \frac{P_t}{P_0} \times 100$				t : 比較時, 0 : 基準時	i : 使用電力量パターン
t : 比較時, 0 : 基準時					
i : 使用電力量パターン					
価格指数の適用 調査市町村別					